

本日のランチ風景



今週は毎日バスでお出かけです。本日の訪問先はZealandia（ジールランディア）野生動物の保護区です。環境保護、自然保護に力を入れていること有名なNZですが、固有種をはじめとした動植物の保護にも大きく力を入れています。蛇のような天敵がないこともあり、NZには数多くの飛べない鳥が生息していましたが、入植が進み、家畜やペットの小動物などが入りこんでくるのに伴い、絶滅してしまった種もあります。ここでは、そのような希少種も自然な環境で生息し繁殖できるように保護しています。

最初に、概要を説明してくれるビデオを見た後で、全体を3つのグループに分けてということだったので、3-1から3-3に分かれて、それぞれに専門のスタッフが付き引率してくれました。私は3-3のグループに通訳がわりに同行しました。このグループを担当してくださったのはPerryさんという男性です。この保護区は周囲を高さ2メートル強のフェンスで囲まれており、それは猫、うさぎ、ポッサムなどの小動物の侵入を防ぐためということでした。特にうさぎは穴を掘って侵入するので、地中にも網状のフェンスをつなげていました。

中に入るには、必ず2種類のドアを通り抜けなければいけません、1つ目のドアを通ったらいったん閉め、必ず人以外の小動物が入っていないことを確認して、次のドアを開けます。

中はできるだけ自然の姿の状態を維持しており、生徒たちは戸隠校外学習を思い出している様子でした。時折Perryさんが、急に立ち止まり、静かにしろとサインを出し、ほらあそこに鳥がいるよと教えてくれます。配布された野鳥一覧を指差して、ほらこれだよと教えてくれます。どの鳥も英語名とマオリ語名を持っています。小さな雛鳥が2羽地面をついばんでいるのを見つけ、「可愛い～」と生徒が近づこうとするのをPerryさんが制止してました、あまり近づきすぎるのは、すぐ近くに親鳥もいるのでよくないとのこと。とにかく一定の距離を保つことはこの後も繰り返していました。



Zealandiaに到着





手前が解説員のPerryさん。いろんな動物をすぐに見つけます。



この施設の広さは225ヘクタールだそうです、ちょっとピンときません。調べてみるとTDL5つ分ぐらいの広さでした。Perryさん突然立ち止まっては耳を澄まし、ほらあそこにと色々示してくれますが、みんな追いつけません。どうしてあんなにすぐ見つけられるんだらうって、感心してました。よく登場してきて、みんながすぐに覚えたのがTui（ツイ）というNZ固有種の鳥です。蜜を主食としているとのことで、陽にあたってアルコール発酵をおこした蜜を食べて、酔っ払い飛行をしているTuiを見ることがあると教えてくれました。それともうひとつFantail（ファンテイル）という鳥でその名の通り、尾が扇のような形をした、小さめの鳥です。マオリ語名はPiwakawaka（ピワカワカ）と言います。

すいません。飛んでるTuiの撮影が難しかったので、写真を撮影しました。首の周りが白くなっているのが大人の証拠だそうです。





ここではKiwiも生息していますが、夜行性のため昼間はこのような朽ちた木の根元にできた穴の中で寝ているのだそうです



道中で昨日訪れたWeta Workshopの名の由来であるWetaの巣箱を開けて、ほらこれがWetaだよと見せてくれました。ちょっと可愛くないコオロギというか太ったカマドウマというか、苦手な人には結構きつい代物かもしれませんね。

Perryさんは植物のことも色々教えてくれ、突然葉っぱをむしったと思ったらちぎって手にこすりつけ、「これレモンの香りがするんだ」と。同じようにしてみると、「ほんとだ、レモンだ!」とみんな嬉しそうです。そのあとは、別の葉をちぎり、突然口に入れました。「これは薬草なんだよ、みんなもどうぞ」って手渡され、同じように口にすると、何かどこかで口にしていたことがあるようなないような、「歯磨き粉の味がするでしょ」って、確かにだんだんミントっぽい味がしてきて、最終的に歯磨き粉っぽい後味が残りました。その次に見せてくれたのは、「これは通称Toilet Paper Leafっていうんだよ」というもので、大きな葉なのですが、葉の裏側がとても柔らかく、拭きごちがいいのだそうです。仕上げはやはりSilver Fernです。NZはシダ植物の宝庫ですが、ラグビーのNZ代表のロゴにも用いられるなど、NZを象徴する植物です。白みを帯びた葉の裏は、夜でも月の光を受けて周りを照らせるほどに輝くことから、この名がついているのだと教えてくれました。

本日の後半の主演はTuatara (トゥアタラ) です。見た目はイグアナといったところでしょうか、原始的な爬虫類で、恐竜の時代からほとんどその形質を変えないまま現代に至るNZ固有種なんだそうです。Perryさんがほらそこにいるよと教えてくれたのですが、なかなかみんな確認できませんでした。というのも、微動だにしないんです。本当は作り物置いてるんじゃないの?と思うぐらい見事に動きません。そして、注意して見ると、そこら中にTuataraがいます。こんだけじっとしていると可愛いね、なんていながら眺めていたんですが、子供のTuataraを大きいTuataraが食べちゃうこともあるんだよ、と教えてくれました。



Tuataraです。写真撮ろうが微動だにしません



もうこれでツアーも終わりという頃Perryさんが上を見て、「みんな見てごらん、これこそNZという光景だよ」と指差した方向には、Silver Fernの葉にとまるTuiがいました。ちょっと得した嬉しい気持ちでツアーを終えることができ感謝です。

ここです!Silver FernにとまるTui



途中歩きながら、女子生徒が「なんだか気持ちよくなって眠くなります」ってつぶやいていたのが印象的でした。こういう心地よさとか、自然の中に身を委ねる気持ち良さを楽しめるっていいですね。現地校生活の中でも、チャンスは色々あると思います。ここでしかできない体験のチャンスを逃さないように！



この森は150年間全く人の手を加えていないそうです。

